



市協紙
松青機
江少関

No.49

発行
令和4年
11月



松江市青少年育成連絡協議会
会長 藤原 恵子

魅力いっぱいの若者たち

「□□ナ禍での生活が三年以上続っています。この間、様々な行動が制限され、「せっかく準備してきた行事がまた中止になり残念だ。」という声をあちこちで耳にしました。各地区青少協でも心配され、日々労があったことと思します。今後ワクチン接種などがさらに進み、心にゆとりが持てる生活に戻っていくことを願ってやみません。

さて、五月に何とか、松江市青少年育成連絡協議会の総会と研修会を開催することができました。今年度の研修会では、地域で活躍をしている若者たちによるディスカッションを行いました。若者の思いを知り、地域と若者が繋がるヒントにしたいと願い計画しましたが、若者たちの地域への熱い思い、ボランティア活動への意気込みを知ることができ、こんなに素晴らしい若者が育っているのだと、大変嬉しく、心強く感じました。

また、今年はいろんな研修会で「わかもの会議」が開催され、若者の意見を聞く機会を得ました。そして、若者の主体的な活動を地域のように応援していくべきなのか、若者たちの発言から考えました。

「どうして自分たちの活動をしようと思いましたか？」「私はふるさとが大好きです。小さい頃、おばあちゃんと一緒に行った菜の花畑、真っ黄色に染まり本当にきれいでした。何よ

り、地域の方が手を取り教えていただきたいその手のぬくもり、地域の方々が手を取り教えていたみたいたその手のぬくもり、

「どうして自分たちの活動をしようと思いましたか？」
「私はふるさとが大好きです。小さい頃、おばあちゃんと一緒に行った菜の花畑、真っ黄色に染まり本当にきれいでいた。何よりも、地域の方が手を取り教えていたみたいたその手のぬくもり、

今回、若者たちの様々な意見や考えを聞けたことは、大変有意義な機会となりました。今後もこういった機会を大切にし、若者の思いを地域へ届け、地域と若者が繋がり、これから地域社会を担う若者の育成に努めたいと考えます。

今でも覚えています。大きくなつたら子どもたちにのぶるさとの素晴らしさを伝えたいと思いました」と答える大学生。ふるさとを大好きな気持ちが活動への意欲に繋がっていました。

子どもは、大切にされる経験を積み上げていくことで、子どもたちの中に、社会貢献への芽が育まれていいくのだと思いました。

「地域での活動で楽しかった、やりがいがあった活動は

「地域行事に参加して、役割をもつた時、あれをしてね、これをしてね」という指示ではなく、自分たちの考えを尊重し、任せてもうれたので、やりがいがあり、楽しく活動できました。」

「子どもたちの考え方、意見を聞いてその力を信じて任せ、子どもの力を引き出せる関わりが大事。お客様の体験活動から、役割と出番のある活動へ、指示から任せれる活動への変換が大切だと感じました。

「地域は若者をどう支えたらいいか

「公民館長さんが旗振り役となり、自分たちの活動を支え、応援してくださって心強かったです。安心して自信を持って活動できました。」

「NPO法人を立ちあげるとき不安もありましたが、無理だ、だめだではなく、方向性を示して公民館が応援してくださり、実現できました。」

若者の地域活動実施に当たっては、困った時に相談にのつてくださり、応援してくださる公民館の存在が、活動への意欲や安心感に繋がっています。若者の挑戦を周りが支持し、誰かが応援してくれたという経験は、チャレンジ精神を育みます。

松江市青少年育成連絡協議会・各地区青少年育成協議会では

こんな事業をしています!

子どもの健全育成研修会

小学校区・中学校区で講演会・意見交換会等の研修を実施しています。

少年見守りパトロール事業

子どもたちの安全のため、パトロールや見守り活動を実施しています。

自立と社会参加

古江

青少年健全育成研修会
(講師:前知夫村教育長 佐々 雅美氏)

朝酌

朝の登校見守りパトロール

島根

見守り・あいさつ運動

玉湯

テレビをかけて家庭の日

秋鹿

ジュニアリーダー研修実践
あそぼいっしょにかんがえて!

生馬

行燈づくり・ハゼ釣り・ナイトウォーキング

八雲

第22回子どもと若者を育てる
青少年育成八雲住民大会
~共に語る、共に知る地域・ひと・つながる~

大野

小・中学生交流活動
大野リンピック2021

城西

まつぼっくりを使った工作教室

朝日

堀川カヌー体験

有害図書の回収事業

令和3年度は
4,252冊の
有害図書類を
黄色いポストで
回収しています。

家庭・地域における啓發活動

- 青少年の非行・被害防止全国強調月間 7月
- 子供・若者育成支援推進強調月間 11月
- しまね家庭の日 第3日曜日

©この印刷物は環境に優しい植物油インクを使用しています。 VEGETABLE OIL INK

若者×地域の
ディスカッションを行いました!

わかものディスカッション

事業内容

5月14日(土)に「わかものディスカッション」と称して、「地域と若者たちの関わり」をテーマに、実際に地域で活躍する若者4名に集まっています。地域の大とのディスカッションを行いました。

当日のディスカッションでは「どうして自分たちの活動をしようと思ったのか」「地域の受け皿はどんな感じ?」「仲間の増やし方は?」「若者目線とは?若者の巻き込み方は?」などについて、若者や地域の率直な思いを語っていました。



参加者の感想

・地域の大人と小中高生が出会う場をつくり続けることが大切だと感じました。大人がやってほしいことをやつもらうのではなく、若者がやりたいことを支えることが大切ということもわからました。
・若者の声を聴けてよかったです。若者が誰かの幸せのため、地域の幸せのため活動している姿、美しく感動しました。素晴らしい出会いの機会に感謝!!ありがとうございました。

<一部抜粋>

出演者



NPO法人 KEYS

藤原 瞳己さん



宮チャレ!実行委員会

高橋 椿太郎さん



たまゆメンバーズくらぶ

小泉 龍真さん



T-ailes (テイルズ)

下山 嘉真さん



宮道公民館 館長

佐藤 和彦さん



松江市青少年育成連絡協議会 副会長

須山 美玲さん



松江市教育委員会 派遣社会教育主事

山田 祐司さん

松江市青少年育成連絡協議会は地域で活躍する若者を応援します!

当日の様子はコチラから



子どもの健全育成実践発表

令和3年度
モデル事業紹介!!

○事業の目的・期待する効果

川津地区のみならず松江市のシンボルである「嵩山」の登山を通じて、子どもたちに郷土への誇りを持つてもらうことを願って実施した。また、SDGs※1「陸(森林)の豊かさを守る」取り組みとして、未来社会や自然環境保全への貢献、さまざまなかつ「キッズ」との触れ合いを通して「ダイバーシティ」※2社会への寄与を願って実施した。

○事業の内容・対象

1、嵩山についての勉強会

〈川津公民館、十月二十四日(日)〉

- ①嵩山の地理や歴史について(嵩山の特色)
- ②登山の安全について
- ③危険な動植物登山の服装など
- ④登山に適した昼食
- ⑤山の天気について
- ⑥登山のお弁当・おやつ作り

2、嵩山登山実技研修

〈十月二十五日(月)、三十一日(日)の二回〉

- ①嵩山の自然とふるさとの景観
- ②嵩山頂上・展望台からの眺望
- ③嵩山の動・植物について
- ④登山の基本技術(歩行、給水、休憩)

3、対象

小学校三年生以上・中学生

○事業の成果と今後の課題

川津地区の子どもたちに、地元の嵩山の登山を通して、ふるさと川津、ふるさと松江のイメージを心に刻んで欲しいという願いで、子どもたちと一緒に登山を体験しようと、積極的にこの養成研修会に参加した。また、近年言われている「SDGs」や「ダイバーシティ」への視点を置いた研修会にしたい気持ちをもつっていた。

川津地区内の川津小学校、松江養護学校の児童・生徒の参加を願って、それぞれの学校の保護者の周知をお願いした。川津公民館、島根県キャンプ協会並びにしまね四季の学び舎とも密接な連携を図り、プログラムの検討を重ねた。それぞれに専門的助言をいただき、内容の濃い、かつ安全な「登山研修」にすることができた。

次年度は、「しまね四季の学び舎(西川津町)」との連携を深め、「視覚障がい者登山サポート養成」ともコラボして、あらゆる子ども達に寄り添える「ジュニア・ガイド養成」を図り、「ダイバーシティ」社会への貢献も深めていくたいと思つ。※1 SDGs…世界中の皆で目指す、永続的な社会地球環境を構築するための目標
※2 ダイバーシティ…個々の「違い」を受け入れ、認め合ひ、生かしていくこと



キッズ・嵩山登山ボランティアガイド養成研修会

川津青少年育成協議会

会長 神門 二郎



高山東屋から和久羅山を望む